

# 中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2019年10月～12月期実績、2020年1月～3月期見通し）

## 1 県内商工会地区における産業全体景況

### 産業全体のすべて指標が3期連続で低下































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△27.3、採算D Iが△29.4、資金繰りD Iが△18.7となり、対前期比でそれぞれ、6.4ポイント、4.1ポイント、1.7ポイント減少し、すべての指標で低下した。産業別では、サービス業の各D Iで低下が目立つ結果となった。

次期は、売上額D Iと採算D Iが小幅に好転し、資金繰りD Iが0.7ポイント低下する見通しである。

### 産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △27.3（対前期比 △6.4 低下） 次期予想 △26.9（対前期比 0.4 好転）
- ・採算D I △29.4（対前期比 △4.1 低下） 次期予想 △29.3（対前期比 0.1 好転）
- ・資金繰りD I △18.7（対前期比 △1.7 低下） 次期予想 △19.4（対前期比 △0.7 低下）

### 産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年1月～3月		△11.4 		△19.4 		△8.6 
2019年4月～6月		△16.1 		△22.3 		△15.7 
2019年7月～9月		△20.9 		△25.3 		△17.0 
2019年10月～12月		△27.3 		△29.4 		△18.7 
2020年1月～3月 （見通し）		△26.9 		△29.3 		△19.4 

## 2 業種別景況

### (1) 製造業

#### 製造業は採算D Iが低下し資金繰りD Iが悪化
















製造業では、売上額D Iが△28.6ポイントで、対前期比で横這いであった。採算D Iは△35.3ポイント、対前期比で2.9ポイント低下し、資金繰りD Iは△26.5ポイントで対前期比、11.3ポイント悪化した。

次期は、売上D Iが大幅に悪化し、採算D Iが小幅に好転、資金繰りD Iは横這いの見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △28.6 (対前期比 △0.0 横這) 次期予想 △37.1 (対前期比 △8.5 悪化)
- ・採算D I △35.3 (対前期比 △2.9 低下) 次期予想 △32.4 (対前期比 2.9 好転)
- ・資金繰りD I △26.5 (対前期比 △11.3 悪化) 次期予想 △26.5 (対前期比 0.0 横這)

#### 製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
2019年1月～3月		△8.9 ↓		△11.8 ↗		△6.0 ↗
2019年4月～6月		△25.8 ↓		△32.3 ↓		△20.6 ↓
2019年7月～9月		△28.6 ↓		△32.4 ↓		△15.2 ↗
2019年10月～12月		△28.6 →		△35.3 ↓		△26.5 ↓
2020年1月～3月 (見通し)		△37.1 ↓		△32.4 ↗		△26.5 →

## (2) 建設業

### 建設業は採算D I と資金繰りD I が好転































建設業では、売上額D I が $\Delta 7.7$ ポイント、対前期比で $7.7$ ポイント悪化したが、採算D I は $\Delta 12.0$ ポイント、対前期比 $8.0$ ポイント、資金繰りD I が $\Delta 11.5$ ポイント、対前期比 $8.5$ ポイントとなりそれぞれ、好転した。

次期は、売上額D I が小幅に低下し、採算D I と資金繰りD I が大幅に低下する見通しである。

#### 主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 7.7$  (対前期比  $\Delta 7.7$  低下)      次期予想  $\Delta 8.0$  (対前期比  $\Delta 0.3$  低下)
- ・採算D I  $\Delta 12.0$  (対前期比  $8.0$  好転)      次期予想  $\Delta 33.3$  (対前期比  $\Delta 21.3$  悪化)
- ・資金繰りD I  $\Delta 11.5$  (対前期比  $8.5$  好転)      次期予想  $\Delta 20.0$  (対前期比  $\Delta 8.5$  悪化)

#### 建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年1月～3月		8.8 		$\Delta 12.0$ 		0.0 
2019年4月～6月		11.5 		$\Delta 11.5$ 		$\Delta 15.4$ 
2019年7月～9月		0.0 		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 20.0$ 
2019年10月～12月		$\Delta 7.7$ 		$\Delta 12.0$ 		$\Delta 11.5$ 
2020年1月～3月 (見通し)		$\Delta 8.0$ 		$\Delta 33.3$ 		$\Delta 20.0$ 

### (3) 小売業

#### 小売業では資金繰りD Iが小幅の好転

小売業では、売上額D Iが△32.6ポイントで、対前期比5.6ポイント悪化し採算D Iが△39.6ポイントで、対前期比10.4ポイント悪化した。































資金繰りD Iは、△16.7ポイントで前期から2.0ポイント小幅に好転した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iで大幅に好転・上昇する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △32.6 (対前期比 △5.6 悪化)      次期予想 △20.0 (対前期比 12.6 好転)
- ・採算D I △39.6 (対前期比 △10.4 悪化)      次期予想 △30.5 (対前期比 9.1 好転)
- ・資金繰りD I △16.7 (対前期比 2.0 好転)      次期予想 △10.9 (対前期比 5.8 上昇)

#### 小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
2019年1月～3月		△14.9 		△34.0 		△17.4 
2019年4月～6月		△27.1 		△29.2 		△18.7 
2019年7月～9月		△27.0 		△29.2 		△18.7 
2019年10月～12月		△32.6 		△39.6 		△16.7 
2020年1月～3月 (見通し)		△20.0 		△30.5 		△10.9 

## (4) サービス業

### サービス業は全てのD Iが低下

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 30.4$ 対前期比で9.8ポイント低下し、採算D Iは $\Delta 25.7$ ポイント、対前期比4.6ポイント低下し6期連続してマイナス幅が拡大し資金繰りD Iは $\Delta 18.8$ ポイント、対前期比3.0ポイント低下し4期連続してマイナス幅が拡大した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも全てのD Iで、小幅に低下する見通しである。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 30.4$  (対前期比  $\Delta 9.8$  低下)      次期予想  $\Delta 32.9$  (対前期比  $\Delta 2.5$  低下)
- ・採算D I  $\Delta 25.7$  (対前期比  $\Delta 4.6$  低下)      次期予想  $\Delta 25.8$  (対前期比  $\Delta 0.1$  低下)
- ・資金繰りD I  $\Delta 18.8$  (対前期比  $\Delta 3.0$  低下)      次期予想  $\Delta 21.5$  (対前期比  $\Delta 2.7$  低下)

### サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
2019年1月～3月		$\Delta 16.9$		$\Delta 15.9$		$\Delta 7.1$
2019年4月～6月		$\Delta 14.1$		$\Delta 16.9$		$\Delta 11.5$
2019年7月～9月		$\Delta 20.6$		$\Delta 21.1$		$\Delta 15.8$
2019年10月～12月		$\Delta 30.4$		$\Delta 25.7$		$\Delta 18.8$
2020年1月～3月 (見通し)		$\Delta 32.9$		$\Delta 25.8$		$\Delta 21.5$

### 3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	17.1%	生産設備、車両運搬具 付帯設備、OA機器 その他	14.3%	土地、生産設備 車両運搬具、付帯設備 OA機器、その他
建設業	3.8%	車両運搬具	11.5%	建物、建設機械 車両運搬具、OA機器
小売業	6.2%	販売設備、車両運搬具 付帯施設、OA機器	20.8%	販売設備、車両運搬具 付帯設備、OA機器 その他
サービス業	9.9%	サービス、車両運搬具 付帯設備、その他	9.9%	サービス、車両運搬具 付帯施設、OA機器 その他

### 4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	24.1%
	2位	原材料価格の上昇	13.8%
		製品ニーズの変化	13.8%
		生産設備の不足・老朽化	13.8%
建設業	1位	材料価格の上昇	26.3%
	2位	請負単価の低下・上昇難	15.8%
		民間需要の停滞	15.8%
小売業	1位	需要の停滞	19.0%
	2位	消費者ニーズの変化	16.7%
		仕入単価の上昇	16.7%
サービス業	1位	利用者ニーズの変化	21.1%
	2位	材料等仕入単価の上昇	19.3%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	15.8%

# 中小企業景況調査について

## 1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

## 2 調査要領

### (1) 調査対象時期

2019年10月から12月の第3四半期を対象とし、調査時点は2019年11月15日。

### (2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和元年12月17日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041